

第3・4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

白浜町立日置小学校 教諭 日根 智晃

1. 単元名 「個性」ってなんだろう？

2. 単元の目標

- 性の在り方が多様であることについて理解できる。 (知識・技能)
- 多様な性を持つ人へのかかわり方を考えられる。 (思考力・判断力・表現力)
- 相手の人格や見方・考え方を尊重しようとする態度を育てる。
(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、「レインボーフェスタ」、「ジェンダーバイアス」、「個『性』ってなんだろう？」(あかね書房)を教材として取り上げる。

「ジェンダーバイアス」については、事前に児童たちにアンケートを実施し、「男らしさ」「女らしさ」に関して持っているイメージを想起できるようにすることで、本単元への導入を円滑にすることができる。

「レインボーフェスタ」や「個『性』ってなんだろう？」では、実際に悩みを抱えている人の声や、社会で生きていく上で、どのようにジェンダー問題と向き合っているのかを受け止め、考えられるきっかけにしたい。また、悩みを抱えている人の気持ちにふれることで、「自分たちには何ができるだろう。」「それぞれの自分らしさを大切にしたい。」という心情を養い、関係を深めていくコミュニケーションスキルの向上を図ることができると思う。

(2) 児童観

本学級の児童は、男子○名、女子○名の学級である。子どもたちには、普段の生活の中で、「男の子だから・・・」「女の子だから・・・」と言ったり言われたりする様子が見受けられる。好きな色や趣味の話題が挙がるときも、性別によって判断していることや、イメージを持っていることが感じられる。

しかし、「男の子だから強い」「女の子だから優しい」と言われるのは良いかもし

れないが、「男なのに」「女のくせに」などの発言が子どもたちから挙がることもある。今回、「男らしさ」「女らしさ」について学級で考えることによって、「性別にかかわらず、一人の人間として生きていく上で大切なこと」や、「思いやりをもって誰にでも接すること」を知り、実践していこうとする心情を養いたい。

(3) 指導観

導入では、「ランドセルや靴の色」「服装」「仕事」などのイメージしやすい題材を取り上げることで、「自分も性別によって区別していることがあるかもしれない。」という考えが浮かぶようにする。また、自分たちが「男の子だから〇〇」「女の子だから〇〇」という風に言われたことがあるかを問いかけ、「自分らしさ」についての課題をつかませたい。

「レインボーフェスタ」を取り上げることで、社会には、様々な悩みを抱えている人々がいるとともに、自分らしく生きるために支え合っていこうとする活動があることに目を向けられるようにする。そして、なぜ、これらの活動が広まっているのかという疑問を持たせることで、日本のジェンダーギャップの課題やLGBTという概念を知り、「多様性」の大切さに気づき、考えられるようにしたい。

(4) ESD との関連

・ 本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

多様性 それぞれが、違ったもの見方や考え方を持っていることに気づく。

相互性 人との関わり合いによって生まれる「自分らしさ」があることに気づく。

連携性 それぞれの価値観を積極的に認め、お互いの個性を尊重していこうとする関係性を築く。

・ 本学習で育てたい ESD の資質・能力

批判的に考える力 (クリティカル・シンキング)

男性らしさ、女性らしさという特定のイメージについて考えられるようにする。

コミュニケーションを行う力

自分が持っている「性」についての意見を交流する。

つながりを尊重する態度

性別についての課題解決に取り組むことは、身近な問題だけでなく、日本や世界の人々の意識や行動を変えていくことにつながると気づく。

・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

世代内の公正

それぞれの見方、考え方、価値観などを、同じ時代を生きる世代で伝え合っているようにする。

世代間の公正

それぞれの見方、考え方、価値観などを、世代を超えて伝え合っているようにする。

人権，文化を尊重する

自分たちがそれぞれ持っている「自分らしさ」を、尊重し、大切にしていこうとする。

・ 達成が期待される SDG s

- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 16 平和と公正をすべての人に

4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
①性の多様性について理解している。 ②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や写真、絵などを用いて、パワーポイントにまとめる技能を身につけている。	①多様な性を持つ人への関わり方を考えることができる。 ②ジェンダー問題について学んだことや考えたことを、自分の言葉で表現しようとしている。	①相手の人格を尊重するために、自分にできることを考えようとしている。 ②学んだことを発信しようとしている。

5. 単元の指導計画（全5時間）

時	主な学習活動	学習への支援	評価（△） 備考（・）
1	<p>○自分たちの事前アンケートをもとに、ジェンダーバイアスについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は〇〇色が好き、女子は〇〇色が好きというイメージがある。 ・ランドセルや服装も、男女によってちがう。 ・スカートをはくのは女子。 	<p>○事前アンケートと、「ランドセルの色」「服装」などの身近な問題をもとにして、学習の見通しを持てるようにする。</p> <p>また、自分たちが行ったアンケートの結果から、他の学年の子たちはどうだろうと予想させ、アンケートを実施できるようにする。</p>	<p>△ア① △ウ①</p>
2	<p>○レインボーフェスタという活動について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても多くの人に参加していることに驚いた。 	<p>○社会の流れに目を向け、「なぜ日本でそのような活動が行われているのだろうか？」と考えられるようにする。</p>	<p>△イ② △ウ① ・ゲストティーチャー招聘。</p>
3	<p>○「個『性』ってなんだろう？」の本をもとに、LGBTについて知る。</p>	<p>○LGBTを学ぶことを通して、自分の「好き」という気持ちを大切にしようとする。</p>	<p>△ア① △イ①</p>
4	<p>○全学年にアンケートをした結果をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちと同じように思っている人が多い。 ・あまり、ジェンダーバイアスを感じていない人もいる。 	<p>○班ごとに項目を分けて、パワーポイントにまとめていくことで、学級全体で発信するという意識と、学習する意義を持てるようにする。</p>	<p>△ア② △ウ②</p>
5	<p>○学習してきたことをまとめ、ふりかえる。</p>	<p>○自分の考えの変化をふりかえられるようにする。</p>	<p>△イ② △ウ①</p>